

三木市吉川地域小中一貫校設置に係る基本計画策定業務 第1回ワークショップ報告書

1 開催目的

基本計画を策定するにあたり、新しい学校づくりにおいて、保護者、地域住民、教職員、行政が対話を通じて意見やアイデアを出し合い、学校の在り方や校舎の設計方針を協働で決める「参加型」の話し合いの場。

「参加型」にすることにより、保護者や地域の思いを取り入れた主体的な学校づくり、保護者・地域・教職員の立場を超えた、共通の方向性を見出す多様な意見の集約を目的とする。

2 ワークショップ開催内容

(1) 教職員ワークショップ

ア 開催日と内容

日 時 令和8年3月24日（火）13:00～14:30

場 所 吉川小学校

参加者 吉川小・中学校 教職員 30名

内 容 ・子どもたちが毎日来たくなる学校って、どんな姿？
・現校舎で助かっている点・課題に感じている点をテーマにグループ討議。

ねらい ・新校への期待、要望の集約
・現学校の課題の把握

イ 意見のとりまとめ

- ・多様な居場所とアメニティの確保
一人でも落ち着ける空間や、トイレの美装化、木の質感を生かした内装など、生活環境の質的向上が「毎日来たくなる学校」の基盤となる。
- ・9年間の連続性を支える空間設計
1～9年生が自然に交流できるサテライト型の教室配置や、異年齢活動を誘発するオープンスペースの設置への期待が高い。児童生徒が主体的に表現・創作できるICT設備や多目的スペースなど、挑戦を支えるハード整備が不可欠である。
- ・教職員の協働と安全管理の機能化
一体的な指導ができる「職員室の配置」と運動場や保健室への同線確保など現校舎において課題となっている点が指摘された。地域開放を前提としつつ、自然な見守りと高度な防犯機能を両立される設計が求められる。



(2) 地域・保護者ワークショップ

ア 開催日と内容

日時 令和8年4月22日(水) 18:30~20:30

場所 吉川町公民館

参加者 地域・保護者の方 14名

内容 ・子どもたちに育ってほしい姿は？
・そのために学校はどうあるべきかをテーマにグループ討議。

ねらい ・地域・保護者の方の新校への期待・要望を収集する

イ 意見のとりまとめ

・豊かな人間性と関りを育む交流環境

多様な世代や仲間との関りを通じて、あいさつや思いやりの心を育む環境を重視する意見が多く出された。互いに助け合い、高いコミュニケーション能力を身に着けることで、豊かに成長できる場としての役割が期待されている。

・地域とつながり郷土愛を醸成する拠点

学校を地域の拠点と捉え、伝統文化の継承や多世代交流の場として活用したいという要望が目立った。地域全体で子どもを見守り、大人も共に学べる環境を整えることで、郷土・吉川への誇りを醸成する学校の在り方が求められている。

・主体的な挑戦と安心感を支える居場所

子どもたちが好奇心を持って主体的に挑戦でき、成功体験を積み重ねられる「楽しい学校」への意欲が見られた。同時に、自分らしく安心して過ごせる多様な居場所の確保など、心理的な安全性を担保する設計が成長の基盤として必要とされている。

